

令和02年度日進市事務事業評価シート

大事業名				コード		
中事業名				計画区分	—	
担当部等	都市整備部		担当課等	下水道課		
総合計画	コード	名称		コード	名称	
	基本目標	3	快適で利便性の高い持続可能な都市づくり	会計	下水道事業会計	
	節	3	住環境の整備	款	1	資本的支出（資本的支出）
	大施策	4	上・下水道	項	1	建設改良費
	中施策	1	下水道の計画的な整備と適正管理	目	1	管路建設費
	小施策	2	計画的な下水道整備の推進	大		
根拠法令・条例等	下水道法、日進市下水道条例					
基本計画等	日進市公共下水道事業計画					

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	下水道管渠等の整備を行う。
対象	公共下水道事業計画区域
意図（目的）	下水道を整備することで供用開始区域を拡大し、生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。
手段	公共下水道の普及率を高めるため、下水道事業計画に基づき、下水道管を整備する。また、下水道管を敷設した翌年度に道路舗装本復旧を行う。

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）		R2予算額	R2決算額	R3予算額
		265,022	239,727	348,573
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	61,175	53,150	50,609
	県支出金			
	地方債	110,200	87,500	121,000
	その他	31,627	35,840	58,652
一般財源		62,020	63,237	118,312
総事業費（千円）		265,022	239,727	348,573

令和02年度日進市事務事業評価シート

○令和2年度に記載した具体的な改善内容

令和2年度に実施する具体的な改善内容	
今後(1~3年以内)実施可能な改善内容	
令和2年度に取り組んだこと	赤池地区、藤枝地区において、公共下水道污水管渠埋設工事を施工した。また、昨年度に管路整備を行った赤池地区、東山地区の道路舗装復旧工事を施工した。
成果	事業計画に沿って整備を行うことで、下水道普及率が77.3%から77.5%に上昇した。
課題	令和8年度末までに汚水処理人口普及率95%以上を目指すために、整備手法や整備区域の見直しに向けた検討が必要になる。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	C	一部改善が必要	前年度評価結果
評価の理由	公共下水道供用開始区域の拡大に伴い、毎年着実に下水道普及率が向上しているが、令和8年度末までの汚水処理人口普及率95%以上を目指すためには整備手法や整備区域の見直しの検討等の一部改善が必要となる。		

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和3年度に実施する具体的な改善内容	国庫補助の確保及び企業債の活用を図りながら、計画的な事業の進捗に努めるとともに、汚水処理人口普及率95%以上を目指すための方向性を検討する。				
今後の方向性	成果	○ 拡充	● 維持	○ 縮小	○ 休廃止
	コスト投入	○ 拡大	● 維持	○ 縮小	○ 休廃止
今後(1~3年以内)実施可能な改善内容	財政部局や環境部局と協議を行い、下水道以外での汚水処理施設概成の方向性を検証する。				

【アウトプット指標】

指標名	供用開始面積（単年度）			単位	ha	
指標データ				R2年度		R3年度
				目標	実績	目標
			25.00	25.42	2.90	

【アウトカム指標】

指標名	河川水質（BOD値）			単位	mg/l	
指標データ				R2年度		R3年度
				目標	実績	目標
			5.0	3.0	5.0	
式	BOD(生物化学的酸素要求量)とは、生物が水中にある有機物を分解するのに必要とする酸素の量(mg/l)を表す指標であり、河川の汚染度が進むほど値は高くなる。					
指標の狙い	下水道普及に伴う水質改善による生活環境の向上を目指すため。					

令和02年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標2】

指標名	汚水処理人口普及率						単位	%
指標データ	H30年度		H31年度		R2年度		R3年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	89.2	90.7	90.4	91.3	91.5	91.4	92.3	